

自立支援相談10の鍵

豊中市社会福祉協議会
勝部麗子

豊中の総合相談とアウトリーチ

地域住民・なんでも相談・事業所・大家、管理組合・貸付・学校・民生委員等



生活困窮案件・サービス拒否・ひきこもり 等のケース



アウトリーチ

伴走型支援



アセスメント



モニタリング

緊急対応・経済再建支援・生活支援



出口支援

居場所

就労準備

就労支援

就労



- 行政の窓口は公共料金の滞納世帯が把握

豊中の生活困窮者支援①

生活困窮者支援緊急支援

- ・ 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)
- ・ 善意銀行の生活困窮者貸付
- ・ 民生委員助け合い資金
- ・ 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- ・ 施設 社会貢献費用との連携

豊中の生活困窮者支援②

- CSWの相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援
(ニート・ひきこもり・リストラ・ホームレス等)
→就労準備的な活動 *本人との目標設定(PSプラン)

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

- ①居場所...週4回(生活面と自己肯定感、仲間意識)
- ②就労プログラム2時間一コマ 活動費支給
- ③就労体験...新聞配達、団地の草ひき、買物支援、パン屋さん
農業、林業、うどん屋さん等
→職域開発地域のネットワーク発揮 活動費支給
- ④びーの×マルシェでの定期的な就労体験
- ⑤就労訓練...パートで一定期間仕事に就く(この間就活)
- ⑥就労支援...就労支援センター・ハローワークとの連携

ステップアップ



生活困窮者自立支援 総合相談の10の鍵

- 入口と出口づくり
 - 入口 早期発見ネットワーク 解決力が発見力
 - 出口 一般就労だけが出口ではない
ひとりひとりの役割がある
- 本人の自己肯定感を高める 徹底した本人尊重
- 翻訳機能 行政と本人 事業所と本人 地域と本人
- SOSを言える気づける地域づくり
知ることによって優しさが生まれる
- 開発力 ないものは作る セーフティネットを作る事業
緊急小口資金・フードバンク

- できる・できないのジャッジのワーカーではいけない
本人の生活から支援を組立てる
- 家族全体の見立てが大切
包括から見たら虐待? 息子支援は?
保護か?就労支援?
- スモールステップを積み上げる 本人と目標を共有する
- 諦めない心 人生をあきらめかけて人を支える私たち
が先に諦めてはいけない
- 援助関係づくり サービス拒否は支援者が拒否されてる
あなたを心配している。苦しい思いを受け止める
社会資源の活用は本人が主体化しないと始まらない